

パワハラはなくならないの？

上司も部下も同じ労働者です

みなさんの職場では、管理職、助役からの若手社員に対する言葉遣いはベテラン社員と比べていかがですか？

勤務中に起きたトラブルやミスに対する事情聴取、各種試験を受験する際の面談、その他自主活動における面談等、上司と接する機会は少なからずあると思います。

ある職場では、点呼時に増収の少ない社員に対して叱責したり、ほかの社員の前で目標達成を宣言させたり、若手社員を精神的に追い詰めるような言動が横行しているという話を耳にします。同じ労働者としてどう思いますか？**本来の業務とは関係のないところで、個人の人權を無視した指導がここまでまかり通っているのでしょうか？**

若手社員の皆さんは、入社時から社会人としてのマナーや言葉遣いについて、いろいろなところで指導されてきたことと思います。しかし、**社会人⇨若手社員ですか？**同じ社会人である管理職や助役も、若手社員の見本になるように、人として最低限のマナーや言葉遣いに気を付けるべきではないでしょうか？

自分の身は自分で守りましょう

現在、パワハラ問題がいたるところで深刻化しています。しかしこのパワハラというものは線引きが非常にあいまいで、上司にそのつもりがなくても、受け取る側（部下）のとらえ方による部分が大きいのです。結論からいうとパワハラという言葉がなくならないとパワハラはなくなりません。

だからこそ、何が正しくて、何がおかしいか？この判断は**自身が学習することにより行っていくかなくてはなりません。**

上司の言うことが正しいのか、間違っているのか？自分で判断しづらい場合は身近な人に相談してみませんか？

「〇〇活動のリーダーやれ！」って言われた。仕事と関係くない？



一人で悩まず相談しましょう！



若い力

第 60 号

2016年 11月 15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515